



PRESS RELEASE



Photo by Yusuke Nishimura

**世界を熱狂させた大人気作！
エンターテインメント性と芸術性を兼ね備えたカラフルな魔法の世界**

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ
新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

見どころ Highlights

一流のアーティストたちによる、現代性を持つ新しいクラシック・バレエ

世界で最も多忙なコレオグラファーの一人であるクリストファー・ウィールドンが手掛けた初めての物語バレエ。音楽には映画やテレビ番組での音楽を手がけるジョビー・タルボット、美術には数々の作品でトニー賞を受賞しているボブ・クロウリーという錚々たるアーティスト達が集結して、英国ロイヤルバレエで2011年に初演されました。世界を席卷したこのプロダクションは世界有数のバレエカンパニーがレポートリー化しており、アジアでは唯一新国立劇場バレエ団だけが上演を許可され、2018/2019シーズンの開幕公演として上演されました。

ウィールドンはインタビューで「この作品は伝統的なクラシック・バレエではなく、ミュージカル・シアターとバレエの融合、ハイブリットだ」と答えています。原作の世界を見事に視覚化したカラフルでポップな美術、最新の照明・映像技術で構成された舞台は、観客を惹きつけてやまない魅力に溢れています。プロジェクション・マッピングなど現代アートが織り込まれつつも、生身の人間によるパフォーマンスの素晴らしさを存分に堪能できる、まさに極上のライブ・エンターテインメントです。

個性の強いキャラクターたちと物語の二重構造

オープニングはアリス一家の自宅で開かれたティーパーティー。ここでこの作品に登場する主要メンバーが揃い、主役のアリス、彼女の母と父、家族の友人であるルイス・キャロル、そしてアリスがほのかな恋心を抱く庭師のジャックが登場します。

メインキャラクターは現実の関係性を維持したまま、不思議の国の住人たちに变身！アリスの母は強烈なハートの女王、父は気弱なハートの王、ルイス・キャロルはいつも忙しい白ウサギ、庭師ジャックはハートのジャックとなり、それぞれ同じダンサーによって演じられます。

こうした二重構造で、アリスとジャックの恋物語が現実と夢、そして時空を超えて展開されていきます。新しいテクノロジーを取り込みつつも描かれるのは物語と人間であり、観客の心にある“こども”の部分に気づかせてくれる作品です。



アリス



ジャック



ハートの女王



白ウサギ

Photos by Yusuke Nishimura

現代的な楽しさに富む、生き生きとキャラクターを描く音楽

映画界でも大活躍のジョビー・タルボットの音楽もこの作品の大きな魅力です。彼の音楽はキャロルの登場人物たちのように生き生きとそれぞれのキャラクターを描きます。不思議でおかしなおとぎ話の『アリス』にはぴったりの、リズムカルにゆらめくオーケストラの音色を創り出しています。

オーケストラのなんと約三分の一を打楽器が占め、不思議な登場人物たちや情景に合わせて、フロッグギロ、サンダーシート、ウィンドマシーンなど沢山の特殊な楽器も使用されています。

ものがたり Story

イギリスにあるアリス一家の自宅でパーティーが始まろうとしている。アリスは恋する庭師のジャックにジャム・タルトをプレゼントするが、タルトを盗んだと母親に誤解されてジャックはクビになってしまう。悲しむアリスを一家の友人のルイス・キャロルが慰めようとしたところ、不思議なことが！彼は白ウサギに変身する。

追いかけたアリスが着いたのは、母親にそっくりのハートの女王が支配する世界。女王のジャム・タルトを盗んだ罪で処刑されそうになっているハートの騎士の格好をしたジャックを救おうと、アリスの冒険が始まる。



アリスは体が大きくなったり小さくなったり。そして、白うさぎに誘われ不思議の国の奥深くへ。女王の庭園に忍んできたジャックは女王に捕まってしまう、裁判が始まる。

不思議の国で出会った不思議な人々と生き物たちが次々と登場し、ジャックに不利な証言をする。アリスは彼を弁護するが、女王はますます怒りを募らせ、城内は大混乱に・・・。

撮影：鹿摩隆司

スタッフ Staff

【振付】 クリストファー・ウィールドン Choreography by Christopher WHEELDON



英国出身の振付家。英国ロイヤルバレエ学校で学び、1991年英国ロイヤルバレエに入団。93年にニューヨーク・シティ・バレエに入団し、98年にソリストに昇格。2001年ニューヨーク・シティ・バレエ初の常任振付家に就任。ニューヨーク・シティ・バレエ、ロイヤルバレエ、アメリカン・バレエ・シアター、サンフランシスコ・バレエ、ペンシルバニア・バレエ、オランダ国立バレエ、スウェーデン王立バレエ、ポリショイ・バレエ、ナショナル・バレエ・オブ・カナダといった世界中の主要なバレエ団に作品を提供している。07年に「モルフォーセス」ウィールドン・カンパニーを設立し、ロンドンのサドラーズ・ウェルズ劇場のアソシエイト・アーティストに就任。『Dance of the Hours』(16年)、メトロポリタン・オペラの『カルメン』(12年)、映画『センターステージ』(00年)、ブロードウェイ・ミュージカル『成功の甘き香り』(02年)の振付も手がけた。14年に、パリのシャトレ座で初演されたミュージカル『パリのアメリカ人』を振付。作品は15年にブロードウェイで上演され、トニー賞の振付賞を受賞。『シンデレラ』(13年)と『冬物語』(15年)でブノワ賞。『Aeternum』と『冬物語』でローレンス・オリヴィエ賞。14年にはレオニード・マシーン賞。2016年に大英勲章(OBE)を授与された。新国立劇場では、18年に『不思議の国のアリス』を上演。

【音楽】 ジョビー・タルボット Music by Joby TALBOT



1971年、英国ウィンブルドン生まれ。ギルドホール音楽演劇学校で作曲を学ぶ。作曲活動は多岐に渡り、合唱曲『奇跡の道』(05年)、アリソン・バルサムとロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のためのトランペット協奏曲『Desolation Wilderness』(06年)、バレエ作品としては、ウエイン・マクレガー振付『クロマ』(06年)、クリストファー・ウィールドン振付『患者の楽園』(07年)、マクレガー振付『Entity』(08年)、振付家カロリン・カールソンとのコラボレーションで生まれたアンサンブル曲『タイド・ハーモニック』(09年)を編曲したウィールドン振付『タイド・ハーモニック』(13年)などがある。また、声楽曲『The Wishing Tree』(02年)、交響曲『Sneaker Wave』(04年)、交響曲『世界、星々、システム、無限』(12年)、バーセル作曲『シャコンヌ・ト短調』(11年)の編曲も手がけている。15年にはオペラ『エベレスト』がダラス・オペラで初演され、好評を得た。振付家ウィールドンとのコラボレーションによって生まれた全幕バレエ音楽としては、英国ロイヤルバレエで上演された『不思議の国のアリス』(11年)、シェイクスピアの演劇作品をバレエ化した『冬物語』(14年)が挙げられる。『不思議の国のアリス』『Chamber』『クロマ』『奇跡の道』『タイド・ハーモニック』は世界各地で再演されている。

【美術・衣裳】 ボブ・クロウリー Set & Costume Designer: Bob CROWLEY



アイルランドの Cork 生まれ。演劇、ミュージカル、映画、バレエ、オペラと幅広い分野で活躍する装置・衣裳デザイナー。最近の活躍としては、ミュージカル作品では、トニー賞受賞のミュージカル『パリのアメリカ人』(ブロードウェイ、ロンドン、パリ)、『スカイライト』(ロンドン、ブロードウェイ)、『アラジン』(トロント、ブロードウェイ、ロンドン)、ディズニー作品『リトル・マーメイド』ほか数多くの作品を手がけている。演劇作品では英国ナショナル・シアターやロイヤル・シェイクスピア・シアターのために非常に多くの作品を手がけており、トニー賞受賞の『ヒストリー・ボーイズ』ほかブロードウェイで上演される作品も多い。バレエ作品では、英国ロイヤルバレエでのウィールドン振付『不思議の国のアリス』『冬物語』、マクミラン振付『アナスタシア』の美術と衣裳デザインを手がけた。オペラ作品では、『ドン・カルロ』(メトロポリタン・オペラ)、『椿姫』(英国ロイヤルオペラ)、『グレート・スコット』(ダラス・オペラ)、『利口な女狐の物語』(シャトレ座)、映画作品では『オセロ』『クルーシブル』のデザインも手がけており、7度のトニー賞受賞のほか受賞歴も数多い。

【台本】 ニコラス・ライト Scenario by Nicholas WRIGHT



手がけた演劇作品に、『ツリートップス』、『ワン・ファイン・デイ』(リバーサイド・スタジアム)、『ゴーキー・プリゲイド』(ロイヤル・コート劇場)、『クライムズ・オブ・ヴォートラン』(ショイント・ストック・シアター・グループ)、『お国の習慣』『デザート・エア』(ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー)、『クレシダ』(アルメイダ劇場)、『ラティガンのニジンスキー』(チチェスター・フェスティバル)、『ザ・ラスト・オブ・サ・ダッチェス』(ハムステッド)、『トラベリング・ライト』『ミセス・クライン』『ヴィンセント・イン・ブリクストン』『ザ・レポーター』(ナショナル・シアター)などがある。また、『ライラの冒険』(ナショナル・シアター)、『ネイキッド』『ルル』(アルメイダ劇場)、『ヨーン・ガブリエル・ボウクマン』『三人姉妹』(ナショナル・シアター)、『嘆きのテレーズ』(チチェスター・フェスティバル)、ナショナル・シアターなどの翻訳、翻案のほか、オペラの台本では、ヒューストン・グラッド・オペラ『星の王子さま』、チャンネル4でのテレビ・オペラ『マン・オン・ザ・ムーン』を手がけている。

【照明】 ナターシャ・カツツ Lighting Designer: Natasha KATZ



ニューヨーク生まれ。演劇、オペラ、ダンス、コンサートの照明デザインや照明インスタレーションを世界中で手がけている。クリストファー・ウィールドンとコラボレーションしたバレエ作品は、2002年『Tryst』、14年『冬物語』（英国ロイヤルバレエ）、02年『Continuum』（サンフランシスコ・バレエ）、03年『Carnival of the Animals』、05年『パリのアメリカ人』（ニューヨーク・シティ・バレエ）、04年『白鳥の湖』（ペンシルバニア・バレエ）、12年『シンデレラ』（オランダ国立バレエ）。また、14年シャトレ座および15年ブロードウェイでの『パリのアメリカ人』、16年『くるみ割り人形』（ジョフリー・バレエ）の照明も手掛けた。6度のトニー賞受賞歴があり、17年には『Hello, Dolly!』でトニー賞に再度ノミネートされた。また、英国ナショナル・シアター、英国ロイヤルオペラ、アメリカン・バレエ・シアター、ナショナル・バレエ・オブ・カナダで上演される作品の照明デザインも手がける。ニューヨークやロンドンの Niketown で照明インスタレーションを行うなど、その活動は広範囲にわたる。

【指揮】 ネイサン・ブロック Conductor: Nathan BROCK



カナダ出身。現在は、ハンブルク州立歌劇場のカペルマイスター。クラシック・コンサート、オペラ、バレエの3つのジャンルにおいて世界中で指揮活動を行っており、特にモントリオール交響楽団、ハンブルク州立歌劇場、カナダ国立バレエの公演を長年にわたり指揮している。2015年にハンブルク州立歌劇場の第2指揮者、音楽監督補に就任。オペラでは『愛の妙薬』『セビリアの理髪師』『魔笛』『ヘンゼルとグレーテル』、バレエ公演ではJ.ノイマイヤーの新作『エレオノーラ・ドゥーゼ』『トゥーランガリラ』、『ジゼル』の再演を指揮した。また、ハンブルク州立歌劇場の音楽総監督であるケント・ナガノとともに『ローエングリン』『トリスタンとイゾルデ』『エレクトラ』『ペレアスとメリザンド』、細川俊夫の新作『海、静かな海』に関わった。モントリオール交響楽団では、5シーズンの間に常任指揮者として125回以上コンサートを行った。他にもトロント、ケベック、エドモントン、ノバスコシア、ビクトリア、サンダーベイの交響楽団と共演している。

【指揮】 富田実里 Conductor: TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』を指揮した。

キャスト Cast

2022年6月	3日(金) 19:00	4日(土) 13:00	4日(土) 18:30	5日(日) 14:00	8日(水) 13:30
アリス	米沢 唯	池田理沙子	小野絢子	米沢 唯	池田理沙子
庭師ジャック／ハートのジャック	渡邊峻郁	井澤 駿	福岡雄大	渡邊峻郁	井澤 駿
ルイス・キャロル／白ウサギ	奥村康祐	速水涉悟	木下嘉人	奥村康祐	速水涉悟

2022年6月	9日(木) 13:30	10日(金) 13:30	11日(土) 13:00	11日(土) 18:30	12日(日) 14:00
アリス	小野絢子	米沢 唯	池田理沙子	小野絢子	米沢 唯
庭師ジャック／ハートのジャック	福岡雄大	渡邊峻郁	井澤 駿	福岡雄大	渡邊峻郁
ルイス・キャロル／白ウサギ	木下嘉人	奥村康祐	速水涉悟	木下嘉人	奥村康祐

<アリス>



小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主演に抜擢され、その後もほとんどの作品で主演を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主演を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役には W.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

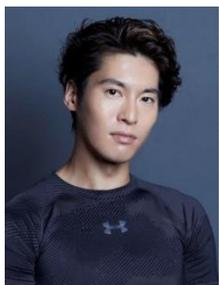
東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。Kバレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ドン・キホーテ』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ピントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』などで主演を踊り好評を博している。

<庭師ジャック／ハートのジャック>



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主演デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主演、D.ピントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主演を踊る。12年よりプリンシパル。D.ピントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主演やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、R.プティ『コッペリア』フランツ、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』ゲーテ/シラー、「Shakespeare THE SONNETS」などを踊り好評を博している。

<ルイス・キャロル/白ウサギ>



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、2009年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、13年『ドン・キホーテ』にて主演デビュー。16年よりプリンシパル。古典作品やD.ピントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主演のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞。



木下嘉人 KINOSHITA Yoshito <ファースト・ソリスト>

京都府出身。寺田バレエ・アートスクールで寺田博保のもとバレエを始め、キーウ国立バレエ学校で学ぶ。ドネツク・バレエにてワジム・ピーサレフに師事し、チューリッゲン・バレエ、ライブツィヒ・バレエ、ザルツブルク州立劇場バレエ団でソリストとして活躍した。2015年に帰国し新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。16年ソリスト、21年ファースト・ソリストに昇格。「こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』」の主演のほか、マクミラン『ロメオとジュリエット』マキューシオ、『マノン』レスコー、ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル/白ウサギ、中村恩恵『火の鳥』タイトルロールなど主要な役を踊っている。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <ファースト・ソリスト>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主演デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』の主演のほか、『ラ・バヤデール』黄金の神像、『アラジン』ランプの精ジーン、『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ、『ライモンダ』アブデラクマンなどを踊る。21年ファースト・ソリストに昇格。

2021/2022 シーズン
新国立劇場バレエ団

不思議の国のアリス

Alice's Adventures in Wonderland© by Christopher WHEELDON

振付	クリストファー・ウィールドン
音楽	ジョビー・タルボット
美術・衣裳	ボブ・クロウリー
台本	ニコラス・ライト
照明	ナターシャ・カツツ
映像	ジョン・ドリスコル/ジュンマ・キャリントン
パペット	トビー・オリー
マジック	ポール・キエーヴ

芸術監督 吉田都

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 ネイサン・ブロック／冨田実里

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

共同制作 オーストラリア・バレエ

【公演日程】

2022年6月3日(金) 19:00
6月4日(土) 13:00/18:30
6月5日(日) 14:00
6月8日(水) 13:30
6月9日(木) 13:30
6月10日(金) 13:30
6月11日(土) 13:00/18:30
6月12日(日) 14:00

【全国公演】

高崎芸術劇場 大劇場 (群馬県)
2022年6月18日(土) 14:00
6月19日(日) 14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演60分前、客席開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

*6月8日(水)は1階～3階席まで学校団体が入るため、1階S席、4階C・D席およびZ席のみの販売です。

*6月9日(木)・10日(金)は1階～4階席まで学校団体が入る予定のため、1階S席およびZ席のみの販売です。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 2 時間 50 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/alice/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	16,500 円	13,200 円	8,800 円	6,600 円	4,400 円	1,650 円

◆クラブ・ジ・アトレ会員の方は、公演最終日まで上記料金の 10%OFF でお求めいただけます。

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2022 年 4 月 23 日（土）10:00～25 日（月）

新国メンバーズ先行販売期間：2022 年 4 月 24 日（日）10:00～25 日（月）

一般発売日：2022 年 4 月 30 日（土）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1 階 1 列～2 列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1 階 1 列～2 列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【P コード：505-964】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【L コード：39696】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html